

おじいちゃん

おしゃべり

小二

五月のれん休に、ひさ
しぶりにおじいちゃんと
おばあちゃんの家で、あ
そびに行きました。わたし
は、おばあちゃんと楽し
く話をしていました。
おじいちゃんもテレビを
見ているので、音が大
きかったのだ、少しお話
がしにくいなと思つて、

音りようを下げました。
ところが、おじいちゃん
は音りようを上げたので
す。わたしは、どうして
おじいちゃんはいじわ
るをするのだらうと思
いました。
「そうしたら、おばあ
ちゃんも教えてくれまし
た。おじいちゃんも耳が
わるいから、テレビの音
があまり聞こえないん
だよ。」
わたしは、そうだった
んだ、おじいちゃんにわ

るいことをしちやっとな
と思いましたが。
そこで、おじいちゃん
もおしゃべりにさそって、
テレビをけして、いっし
よにお話しすることにし
ました。
「さっきは、おばあちゃ
んのお話がよく聞こ
えなかったから、テレ
ビの音を下げたんだよ。
ごめんね。」
と言ったら、おじいちゃ
んも、
「ごめんごめん、音を大

きくしないと聞こえな
いんだ。」
と言ってくれました。
それから、おじいち
ゃんとお話しするとき
大きめの声で、はつきり
話すようにしました。お
じいちゃんはテレビを見
ているときより、楽しそ
うです。
かんじていることや体
のとくちようは、一人一
人ちがっています。だか
らこそ、思っていること
を、きちんと言ばにして

つたえることは、とても
大切なんだなと思いまし
た。わたしは、これから
もやさしい気もちをもつ
て、友だちやいろいろな
人と話したり聞いたりし
て、あい手の思いや考え
を大切にできる人になり
たいです。